

ちひろの いろ せん かたち

＜同時開催＞てなわけで20年。魅惑のチョウ、シンタ展
ちひろ美術館コレクション もようをみよう

2025年6月6日(金)～8月31日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室1・2
多目的ギャラリー

主催：ちひろ美術館

かきかた いろいろ！ 楽しく知ろう、 ちひろの技法

やわらかな色彩で描いた子どもの絵で広く知られるいわさきちひろ。水彩絵の具の色づかいはもちろん、線の表現や画面構成にも工夫を凝らして、新たな表現を追求し続けました。

本展では、ちひろの描き方を「いろ」「せん」「かたち」の章ごとに、解説も交えながら紹介し、多様な表現に注目します。

また、ちひろの絵をあそびながら知ることのできるアートユニットplaplaxの体験型の作品も展示します。

夏休みもはさむ今会期、ちひろの絵の描き方を楽しく探ってみませんか？



1 いわさきちひろ やぎと男の子 1969年



2 いわさきちひろ 小犬と雨の日の子どもたち 1967年

いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。1956年小学館児童文化賞、1961年『あいうえおのほん』産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』（至光社）でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞等を受賞。代表作に『おふろでちゃぶちゃぶ』（童心社）、『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）などがある。



展覧会の見どころ

いろ

ちひろは視覚でとらえた色よりも、心で感じた色を表現することを重んじました。この章では、「まきばの うし」のように子どもたちの心情が背景色に反映されている作品や、ページをめくっていくことで登場人物の心情の変化を伝えている絵本『ふたりのぶとうかい』を紹介します。

せん

ちひろは何度もデッサンを繰り返し、納得がいくまで線を研究しました。鉛筆はもちろん、ペンやパステルなどさまざまな画材を用いて、よりのびやかな線を描いていきました。ちひろの線の多彩さに注目します。

かたち

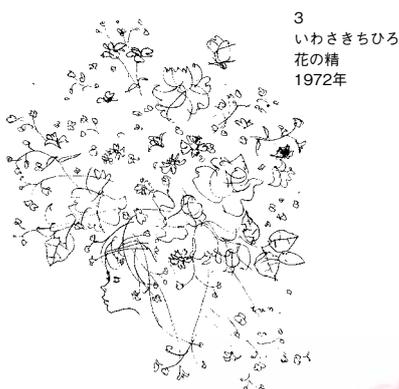
ちひろは花や貝などのモチーフと子どもの大きさを自由に変化させて絵を描きました。また大きさだけでなく、『踊るカーレン』では、連続性のあるシーンをひとつの画面に描き込み、時間の流れを描きだしています。画面構成に対するちひろの自由な発想をご紹介します。

ちひろの絵とあそぶ

近森基＋小原藍 (plaplaX) の体験型の作品《画机の上のあそび場》(2018年)と《だぁ・いー・あ！ログ》(2024年)を展示します。ちひろの技法を楽しく体験しましょう！

出展作品数

約60点



図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。

てなわけで 20 年。

魅惑の『ちょう、しんた』展



＜同時開催＞ちひろの いろ せん かたち
ちひろ美術館コレクション もようをみよう

2025年6月6日(金)～8月31日(日)
安曇野ちひろ美術館 展示室4

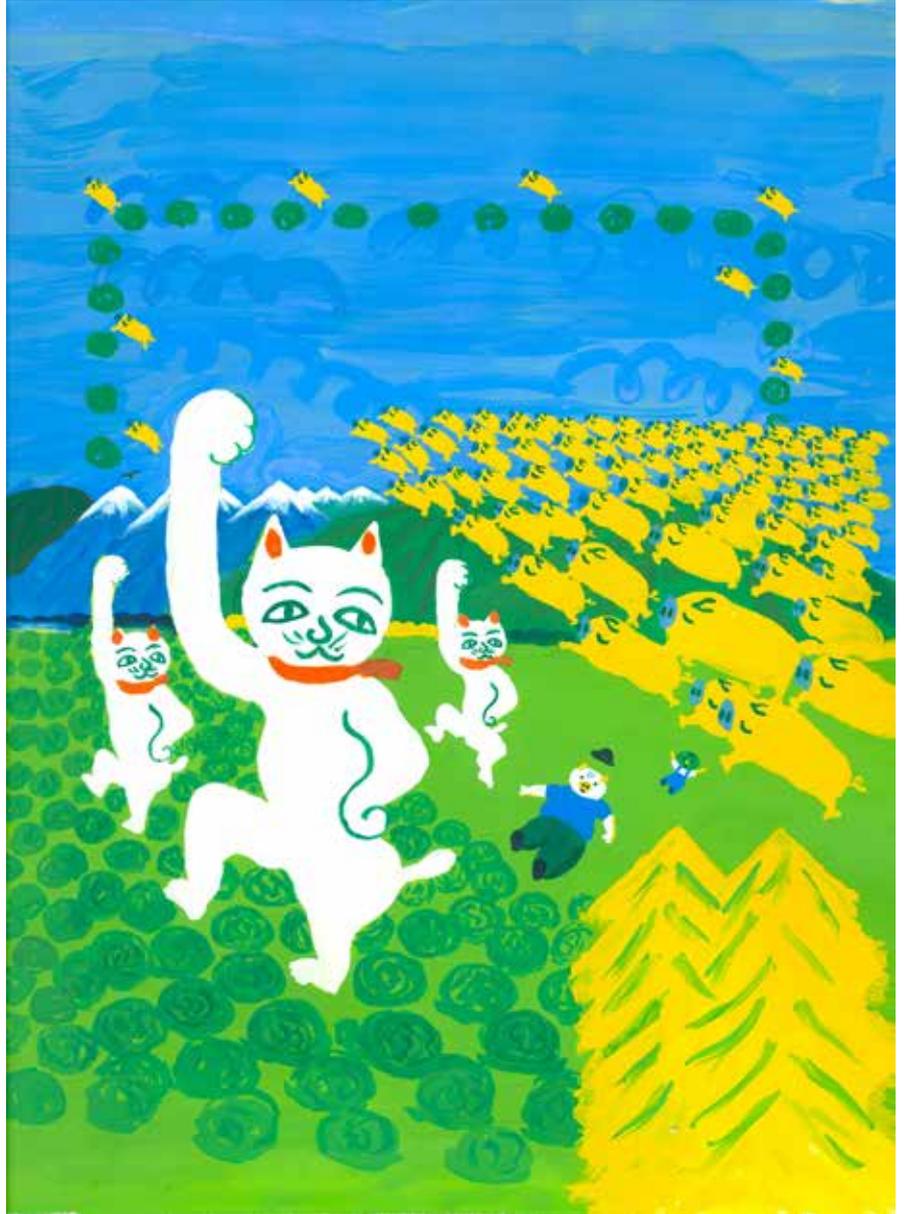
主催：ちひろ美術館

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、
(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書
出版協会、信濃毎日新聞社、市民タイムス、abn
長野朝日放送、長野エフエム放送株式会社

シュール？ ユーモア！ ナンセンス？！ 長新太の魅力マンサイ

長新太は、漫画、イラストレーション、エッセイなど多彩な分野で活躍しました。1958年に初めての絵本を手がけてからは、子どもの本にも仕事の間を広げ、日本の絵本にナンセンスの分野を切り拓きました。

シュールでありながら独特のユーモアに満ちた作品は、没後20年経った今も、幅広い世代を魅了し続けています。本展では、繰り返し展覧会に取り組んできたこれまでの研究成果をもとに、ヘンテコないきものが登場する作品や奇想天外な展開を見せる絵本などを多数展示します。「ナンセンスから意味を求めようというのはナンセンス」と語っていた長新太の魅惑の世界をお楽しみください。



9 長新太 『キャベツくんのにちようび』(文研出版)より 1992年

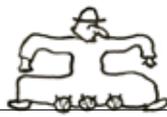


撮影：寺崎誠三

長新太 (ちょう しんた/1927-2005)

東京に生まれる。1949年、東京日日新聞のマンガコンクールに一等入選し、漫画家となる。1958年、堀内誠一の勧めで、最初の絵本『がんばれ さるの さらんくん』を手がける。1959年『おしゃべりなたまごやき』で文藝春秋漫画賞、1981年『キャベツくん』で絵本にっぽん大賞、2005年『ないた』で日本絵本賞大賞をはじめ受賞多数。柔軟で斬新な発想の絵本を発表し続け、日本の絵本界にナンセンスの分野を切り拓いた。





展覧会の見どころ

メクルメク絵本の世界

「いつも生理的に心地よいものを求めているんだけど、その心地よさが、ある時には抒情のほうに行くこともあるし、めちゃくちゃなほうに行く時もあるし」と語っていた長新太。大人気の『キャベツくん』シリーズや『ゴムあたまポンたろう』といったナンセンスな絵本から、『トリとボク』などの抒情的な作品まで、長新太が描いた10冊の絵本原画が一堂に会します。

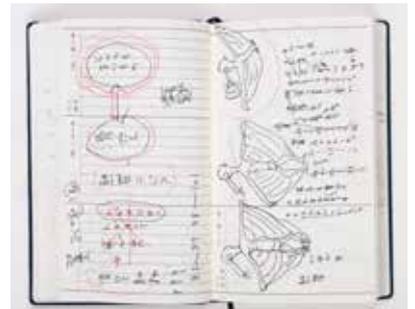
長新太ワールドの魅惑の住人大集合

絵本に登場する体の一部がキャベツになったゴリラや、顔がおにぎりになったテングザル……、漫画やカットには、長さんに似たおじさんや歩く下半身など、じっくり見るとクスッと笑える人物も。約7000点の作品のなかから選んだ、魅惑の住人たちが大集合します。



制作の裏側もチョコッと紹介

長新太のアトリエに残されていた手帳には、新たなアイデアや、絵本の構想、場面割、色などのイメージが描き留められていました。手帳やラフスケッチなど出版に至るまでの資料を展示し、制作の舞台裏も紹介します。



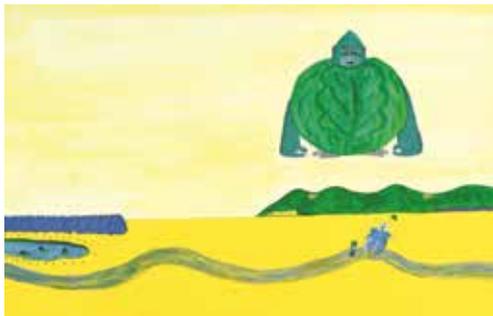
アイデアを書き留めた手帳

出展作品数

約80点

関連展示

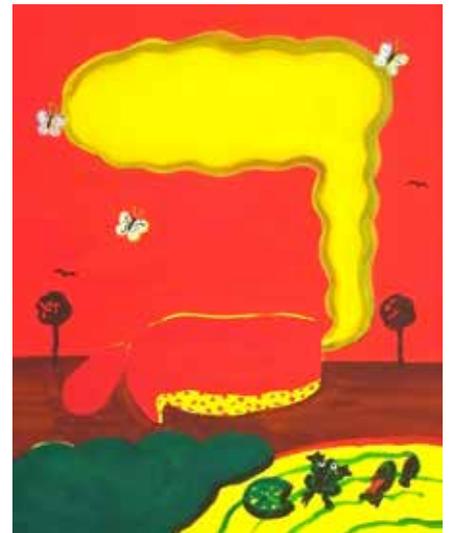
福井県立ふるさと文学館 2025年7月5日(土)～9月21日(日)
「自由いっぱい！奇想天外！長新太 ナンセンス・ワールド」



10 長新太 『キャベツくん』(文研出版)より 1980年



11 長新太 『長新太 怪人通信』(大和書房)より 1981年頃



12 長新太 『はんぶんタヌキ』(こぐま社)より 1988年



13 長新太 『くまさんのおなか』(学習研究社・復刊ドットコム)より 1999年



図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

- ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- ※掲載紙/誌をご送付ください。

ちひろ美術館コレクション もようをみよう

<同時開催>

ちひろの いろ せん かたち

てなわけで20年。

魅惑のチョウ、シタ展

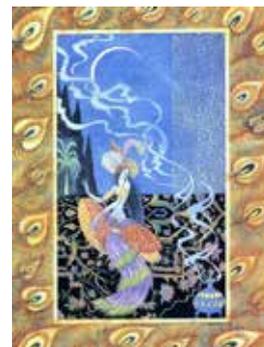
2025年6月6日(金)～8月31日(日)

安曇野ちひろ美術館
展示室3

主催：ちひろ美術館



14 ヌーレディン・ザリンケルク (イラン)
カエル 1986年



15 エロール・ル・カイン (イギリス)
「アラジンと魔法のランプ」習作 1981年



16
エリック・カール (アメリカ)
『ぼくのねこみなかった?』のイメージ
1972年
Eric Carle, Image from Have You Seen
My Cat?, 1991. A Collection of The
Chihiro Art Museum.

絵のなかのもようを探してみよう

絵のなかには、さまざまな「模様」が描かれています。例えば、登場人物の衣装には花柄や水玉模様、家の絨毯には伝統の模様が編み込まれ、くつろぐ猫は茶色の縞々、といった具合です。模様は絵を魅力的に引き立てる役割をしています。本展では、ちひろ美術館コレクションのなかから、絵のなかの「模様」に注目して作品を展示します。

展覧会の見どころ

もようのある生き物

エリック・カール (アメリカ) は、自ら色や模様を手描きした薄紙を、大量にストックしていました。そのなかから絵に合わせて選んだ紙を切り貼りし、作品をつくりました。『『ぼくのねこみなかった?』のイメージ』には7匹の猫が描かれていますが、7匹すべて体の模様が違います。猫の模様に注目してご覧ください。実際にカールが見つけた薄紙も展示予定です。

絵を飾る縁どりもよう

作品のなかには縁どりがデザインされているものもあります。縁どりにはモチーフを際立たせたり、画面を華やかに見せたりする効果があります。エロール・ル・カイン (イギリス) の『『アラジンと魔法のランプ』習作』では、縁どりにクジャクの羽が描かれています。豪華で大胆に並ぶ羽はエキゾチックな雰囲気、見るものを異世界に誘います。他にも縁どりが印象的な作品を展示します。

出展作品数

32点 (予定)



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本・小林

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773 (業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

展覧会関連イベント

●ギャラリートーク

日時：6月21日(土)・7月19日(土)・8月16日(土)
14:00～ いわさきちひろ展 / 14:30～ 長新太展
参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要
開催中の展覧会の見どころを学芸員がわかりやすく解説します。

●中学生ボランティアがこの夏も活動します

地元松川村立松川中学校のボランティアが夏休み期間中に、絵本の読み聞かせや展覧会の魅力を伝える活動を行います。活動内容は、公式サイトにて順次公開します。



●チョウ、シンタだらけの絵本のじかん

日時：6月7日(土)・7月5日(土)
11:30～12:00

参加費：無料(入館料別)
定員：20名
申し込み：不要

長新太の絵本の読み聞かせを行います。あかちゃんから大人まで、どなたでもご参加いただけます。



長新太「ゴムあたまボンたろう」(童心社)より 1980年

その他のイベント

●ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：6月14日(土) 11:00～
参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要
絵本カフェにて絵本の読み聞かせを楽しみましょう。

●ちひろ忌

日時：8月8日(金) 9:00～17:00

2025年8月8日、いわさきちひろ(1918～1974)がこの世を去って、51年目の夏を迎えます。当日は、ちひろが生涯願い続けた世界中の子どもたちのしあわせと平和への思いをご来館のみなさまと分かち合う一日にします。この日ご来館の方に、ちひろのこたばカードを差し上げます。



いわさきちひろ
「ひまわりとあかちゃん」
1971年

●ちひろ忌 松本猛ギャラリートーク

日時：8月8日(金) 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要
ちひろのひとり息子である松本猛(ちひろ美術館・常任顧問)が、展覧会の見どころや母・ちひろとの思い出を話します。

安曇野ちひろ公園イベント

●おでかけホリデー

日時：5/24(土)・6/28(土)・9/27(土)・10/25(土)
10:00～15:00

食体験やおさんぽ会、マルシェなどを開催します。

●トットちゃんの夏祭り

日時：7月26日(土)

●トットちゃんの肝だめし

日時：8月23日(土)

※安曇野ちひろ公園：TEL.0261-85-8822
最新情報：chihiro-park.org

●夜のミュージアム

日時：8月23日(土) 20:00まで開館延長

夕暮れどきからライトアップされた幻想的な夜の美術館(設計：内藤廣)で、ゆったりとした時間をお楽しみください。ちょっとこわいおはなしの会や、安曇野ちひろ公園で「トットちゃんの肝だめし」も開催します。この日、浴衣でご来館の方には、絵本カフェワンドリンクチケットがショップ10%OFFチケットをプレゼントします。(カフェは19:00閉店)。



撮影：中川敦玲

展覧会基本情報

展覧会名	ちひろの いろ せん かたち てなわけで20年。魅惑のチョウ、シンタ展 ちひろ美術館コレクション もようをみよう
会期	2025年6月6日(金)～8月31日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 ※7/19～8/31は9:00～17:00 ○休館日＝水曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※7/19～8/31は無休
入館料	大人1200円 / 18歳以下・高校生以下無料 団体(有料入館者15名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者(子ども1名につき2名まで)は900円 / 障がい者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料 / 年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合＝長野自動車道安曇野I.C.より約30分

※上記のイベントおよび開館情報は予告なく変更になる可能性があります。
最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お問い合わせください。